

ヨーロッパ都市においては、時代を越えてアクター間での対立、共存、排除といった関係を認めることができます。今回は同テーマに造詣の深いイタリア、ドイツの著名な研究者を招き、海外の大学に長期滞在して調査を進めてきた若手研究者を交えて、研究報告会とパネルディスカッションを開催します。

2015.3.22 SUN

10時—17時 (開場9時30分)

大阪市立大学高原記念館学友ホール

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 ●アクセス JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約5分 / 地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分

プログラム

第1部 ————— 10:00~12:05

■ 開会の辞

大場 茂明 大阪市立大学都市文化研究センター所長

■ 講演

フランツ=ヨーゼフ・アーリンクハウス ビーレフェルト大学歴史学科教授

Granting Pardon in Late Medieval German Communes:

A premodern "democratic" Form of Participation of Citizens?

■ 研究発表

前田 充洋 大阪市立大学大学院文学研究科西洋史学専修後期博士課程

Business Activities of Fried. Krupp to Japan at the Turn of the 20th Century

犬童 美紗 大阪市立大学都市文化研究センター研究員

Hamburger Singakademie and the Social Networks of the City in the Nineteenth Century

有田 豊 大阪市立大学都市文化研究センター研究員

Collective Consciousness of the contemporary Waldenses

第2部 ————— 13:00~14:50

■ 講演

マリア・ジュゼッピーナ・ムツザレツリ ポローニャ大学歴史・人間文化学部教授

Facilitate Coexistence, reduce Conflict and Marginalize:

Sumptuary Laws as Governance's Instrument (XIII-XVI Century)

■ 研究発表

木村 容子 大阪市立大学都市文化研究センター研究員

The Parable of the Three Rings in late medieval and early modern Italy

中谷 良 大阪市立大学大学院文学研究科西洋史学専修後期博士課程

The Conflicts between Muslims at Luceria Sarracenorum and local Christians in the Reign of Charles II, King of Naples

原田 亜希子 大阪市立大学都市文化研究センター研究員

The Transformation of the City Government under the Papal States:

The Case of Rome and Bologna in the second half of the 16th century

第3部 ————— 15:10~16:40

■ パネルディスカッション：若手研究者派遣プログラムの成果と課題

進行：海老根 剛 大阪市立大学大学院文学研究科准教授

※第1~2部の使用言語は英語、第3部のみ日本語です。

主催 大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター

問い合わせ 大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター 国際シンポジウム事務局(担当：石川)

TEL 06-6605-2355 Eメールアドレス ishikawa@lit.osaka-cu.ac.jp

<http://ucrc.lit.osaka-cu.ac.jp/zuno/>

国際シンポジウム

ヨーロッパ都市における

対立、共存、排除

入場無料
事前申込不要